

二〇二〇年

三重若菜会会報

昇級・昇段	氏名*学年は昇級時	時期・大会
C級・初段	井村 凜 (大1)	1月愛知
	村井 彩夏 (大1)	1月愛知
	門脇 万葉 (中1)	1月愛知
	諸岡 雄介	1月高松宮
	谷川原 采音 (中1)	1月高松宮
	金井 雅子 (高1)	2月静岡

1. 昇級・昇段者（移行による昇段を除く）

2. 個人戦大会入賞者

A級	【四位】	武居 優冴	(1月大阪)
B級	【四位】	加田 一帆	(11月高松宮)
C級	【四位】	植村 涼寧	(1月高松宮)
D級	【優勝】	井村 凜	(1月愛知)
		村井 彩夏	(1月愛知)
	【準優勝】	門脇 万葉	(1月愛知)
		諸岡 雄介	(1月高松宮)
	【三位】	谷川原 采音	(1月高松宮)
		金井 雅子	(2月静岡)
E級	【優勝】	山本 紘嗣	(1月高松宮)
	【準優勝】	山下 葵衣	(1月高松宮)

(以下、昇段者六名から寄稿いただきました所感です。)

約一年

皇學館大学競技かるた部 井村 凜

私は高校卒業後の春休みにちはやふるを読んで競技かるたに興味を持ちました。大学へ進学したら、部活があったので軽い気持ちで入りました。実際にやってみたらとても熱中できるもので、新しいことも始めてみるものだなと感じました。

今回の昇級戦での勝因としては、粘れたことかなと思います。終盤自分のお手つきもあり苦しい試合でした。最後まで諦めず札を取ることができたと、試合を振り返ってみて思います。

自分のかるたの技術的な強みはまだまだ修得中だと感じますが、精神面では同じタイミングで始めた同級生がとても強く成長していることが、私も頑張らないかなと思わせてくれています。また、頼りになる強い先輩方、先生がいる為、人数は少ないですが、良い環境でかるたを始められたのかなと、思います。

普段の大学での練習は、私が一番実力不足なので、もまれながらがんばっています。全ての練習に行けている訳では無いので、一試合一試合を貴重に感じて、自分の課題と向き合いながら、させていただいています。ただ、試合にいったばいばいになる事がよくあるので、もう少し考えながら試合ができればもっといいのになと思います。練習会は大学内とは違う刺激を沢山貰える場だと思っているため、相手の方から学べるものはないかと考えながら試合をさせて頂いています。

競技かるたは新たな趣味になればいいなと思います。ました。老若男女問わず楽しめる競技でありますから、せっかく始めた新しいことなので、どんな形であれ将来的にも関わっていくか、個人的に楽しむことができればいいなと考えています。

昇級して

皇學館大学競技かるた部 村井 彩夏

私は二〇一九の四月に大学の部活でかるたを始めました。最初は覚えることや取することに苦労し、大変でし

だが、先輩方の試合を見て私も追いつきたいと感じ、それが励みとなりました。自分の思うように取れず、嫌になることも多々ありましたが、それでも頑張ってこれたのはかるたを心の底から楽しめていたからだと思いません。普段の練習で心がけていることは「聞く」ことです。試合をやっていると、「この札が出て欲しい」や「今どれくらい枚数差なのか」などと邪念が入り、聞いているつもりでも聞けていないことがあります。勝つためには一字目の反応が大事だと思うので、意識して練習をしています。昇級を決めることができた愛知大会ではしっかりと一字目も聞くことができて、自分としても危なげなく勝ち進むことができたのかなと思います。しかし、昇級決定後の準決勝では満足感や油断があったのか、危ない場面もありました。ですが、持ち直してなんとか優勝もすることができました。今後の目標としては、まずは今年中にB級にあがることです。ですが、もつと上を目指して日々練習していききたいと思います。

昇級をして

鈴鹿玉垣かるた会 門脇 万葉

1. 昇級昇段を決めた要因（勝因）

二〇二〇年一月五日、愛知大会で昇級し、段位を取得しました。

昇級を決めた要因は、二試合目の中盤で5枚差くらいで負けていたけど、諦めなかった事です。運命戦までもちこんで、最後に自陣の札が読まれて勝ちました。

そこから勢いがついて、昇級戦は危なげなく勝ちましたが、決勝で負けてしまい、準優勝で昇級しました。

2. 自分のかるたの強み・弱み

自分の弱みは、試合数を重ねていくと、暗記が入らなくなる事と、お手つきをしてしまう事です。

3. 普段の練習で心掛けていること

普段の練習で心掛けていることは、札直で札をはらう事や、お手つきをなるべくしないようにする事です。冷静に、早く動けるようにする事です。そして、何よりも楽しく練習する事です。

4. 将来めざしたいこと（今後の意気込みと抱負）

これから目指したい事は、B級になる事です。

部活のバスケもカルタの練習も両立させて頑張ります。まずは、いっぱい試合をして、経験を積んで色々な人に

勝ちたいです。

C級昇級にあたって

桑名若菜会 諸岡 雄介

二〇二〇年一月の高松宮杯D級で準優勝させて頂き昇級しました。まずは、ご指導頂きました方々、試合をして下さった皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございます。

昇級を決めた要因とまではいかないかもしれませんが、「相手の取り方・強さ」よりも「自分が出来ているかどうか」を強く意識した事が良い結果につながった気がします。

まだ、初段と胸を張って言える程強くはありませんが、早く全集中の呼吸をマスターし、「柱」に近づけるように、今後も頑張りたいと思います。

これからは諦めない！

桑名若菜会 谷川原 采音

二〇二〇年一月の高松宮杯D級で三位入賞し、C級に昇級出来ました。今まで準決勝までいったことがなかったのも、この日も勝ち上がることはできないだろうなあと思っていました。

一回戦目は2枚差、二回戦目は12枚差、三回戦目は7枚差で勝ち、準決勝まで勝ち上がることが出来ました。準決勝は団体戦で当たったことのあるチームの子で、大会でよく見かける子でした。2枚差で負けてしまいました。が、楽しく、もう一度試合したいと初めて思った試合でした。

いつも差をつけられるとどこか諦めてしまう気持ちですが、この高松宮では試合に勝ち続けたことで出なかったことが勝因だったと思います。

最近のかるたは、中盤まで押されていて最後まで諦めない集中力がついてきたと思っています。

これからは、序盤に相手陣を抜く意識をもって「攻めるかるた」が出来るようになりたいと思います。強みを生かしながら、弱みを克服していけるように練習をがんばっていきます。

初段を取得して

桑名高校競技かるた部 金井 雅子

私は昨年行われた静岡大会でC級に昇級しました。会場には三重県の選手がほとんどおらず、緊張と不安に押し潰されそうでした。しかし、会場までの往復やサポートのために父が来てくれていたので、試合には落ち着いて臨むことができました。以前の大会で緊張のあまりお手つきを十枚近くして大差で負けたことがあり慌ててお手つきをしようとしたことを恐れていました。今回私が昇級できた最大の理由は、父のおかげで落ち着けたことだと思います。また、劣勢になったときも粘り強く札を取り続けることができたことも勝因の一つだったと思います。

私のかかるたの強みは突き手と戻り手で、相手陣をどんどん攻めるのが得意です。普段から相手陣を見ることを意識して練習していますが、その分お手つきが多く、前述したように大会ではかえって仇となることもありました。だから今後は音をよく聞いてお手つきを減らしつつ、攻めの姿勢は崩さないように技を磨いていきたい

と思います。私はまもなく大学受験に向けて部活を引退するため、しばらくかるたをすることはできなくなりませんが、必ずもう一度かるたの世界に戻り、更なる高みを目指していきたいと思います。

3. 団体戦の記録

成績	参加選手	時期・場所	大会名
団体戦は中止	山下 舞子 松多 璃子 中野 結奈 岡本 理沙 大橋 里菜 谷川原 滉大 伊藤 愛	8月、 高知	高校総合 文化祭

4. 新規加盟団体

新たに、左記団体が三重若菜会に加盟しました。

- ・ 松阪かるた会（代表者…宮本 佳代子）二〇二〇年四月付け

発行日 二〇二一年十月十日

発行行 三重若菜会

発行責任者 村上 智洋